

学びの多様化学校「百道松原中学校」の内覧会の報告

令和7年4月8日（火） 14:00～

令和7年4月8日（火） 14:00から百道松原中学校の内覧会に参加しました。

最初に校長先生から学校経営と現状が説明され、質疑応答などがありました。そのあと施設等の見学が行われました。

不登校の子どもたちが対象で、福岡市内の公立学校では初となる学びの多様化学校・市立百道松原中学校が、福岡市早良区の福岡市教育センターの本館3階と新館2階に設けられた校舎で開校します。不登校の生徒が年々増加する中、新たな学びの場として定着を図る。4月24日には開校式があり、転入学した95人（1年生23名、2年生29名、3年生43名の計95名）が学校生活のスタートを切る予定です。

学びの多様化学校は文部科学相が指定し、学習指導要領にとらわれず、指導内容や授業時間を柔軟に決定できる。（百道松原中学校は約770時間程度に軽減）23都道府県に58校あり、福岡県内では北九州市や大牟田市など、4月開校分を合わせて7校が設置されます。



福岡市立百道松原中学校は、以下の3つを重点とした教育を行います。（学校要覧より抜粋）

1 チャレンジしやすい学校生活

- ・授業時数の低減により、朝や放課後のゆとりを創出
- ・教室以外に様々な居場所をつくり、リラックスできる空間を確保
- ・相談機能の充実により、生徒の状況に応じてきめ細かにサポート

2 多様に取り組む「学び」の充実

- ・一人一人の学習状況に応じた学びをサポート
- ・好きを深めることができる教科「創造・表現（仮称）」を新設
- ・見方や考え方を広げる様々な体験活動を実施

3 人や社会とつながる教育課程

- ・ソーシャルスキルを身に付ける活動を実施
- ・ストレスマネジメント力を高めるための自分と向き合う時間の設定
- ・これからの自分を創造するキャリア教育を実施